

# 当院での障がい者と高齢者への診療体制に関する取り組み

## (スタッフ全員での把握の為に)

当院では、障がいをお持ちの患者様や御高齢の患者様など、歯科治療を行う際に**移動の介助や診療中の体勢に注意を必要とする患者様に対して**は以下のような『介助確認カード』を作成し、カルテへ添付しスタッフ全員で共通認識できるよう心掛けております。

患者様の状況を拝見し、当院側から『介助確認カード』を作成することもあります。患者様からの作成御希望があります場合にも確認カードをお作り致します。

診療に際しまして介助が必要な患者様、あるいは御家族様は御遠慮なさらずスタッフへお申し付けください。



# 介助が必要かどうか確認しましょう！

移動・移乗に関する身体機能	YES	NO
① 院内を移動する際に足下がふらついたりつまずいたりし易いか		
② チェアに乗り降りする際に何かに捕まっていないとバランスを崩し易いか		
③ 目が見えにくい様子が認められるか(段差、障害物の判別の程度)		
④ 耳が聞こえにくい様子が認められるか		
⑤ 杖、歩行車、車椅子など使用しているか		
⑥ 治療中同じ姿勢を続けると不快な様子が認められるか		
⑦ 水平位から背上げた際に前方に滑ることがあるか		
⑧ 水平位から背上げた際に横方向に倒れそうになることがあるか		
⑨ スピットンへ身体を近づけたりねじったりする動作が困難か		

①から⑤にYESが1つでもあれば、移乗介助の検討が必要  
⑥から⑨にYESが1つでもあれば、ポジショニングの検討が必要

疾患・障害	YES	NO
① 骨粗鬆症があるか(骨折、円背、側湾症などの脊椎変形が認められる)		
② 膝や股関節の変形が認められるか(関節の運動範囲制限)		
③ 脳卒中の後遺症が認められるか(半身不随による動作、歩行困難)		
④ パーキンソン病と診断されているか(手足振顫、姿勢バランス不良)		
⑤ 認知症と診断されているか		
⑥ その他移動や移乗、姿勢保持に支障のある疾患や障害があるか		
⑦ 要介護認定は受けているか		

①から⑦にYESが1つでもあれば、移乗介助・ポジショニングの検討が必要